



印西市

# 議会だより



ハート (印西市発作) 撮影者: 篠原 英光さん [撮影時期: 平成24年2月]

平成24年

第4回

## 定例会

会期11月29日~12月20日

### 都市公園条例の一部を改正する条例を可決 (泉公園のパークゴルフ場を加え、使用料を設定)

第4回定例会は会期22日間で開かれました。条例の制定が3件、条例の一部改正が7件、補正予算が2件、その他4件の計16議案のほか、同意が1件、議員提案による発議案が1件、請願2件、陳情4件が提出され、それぞれ慎重な審議が行われました。なお、議案などの議決結果については、7ページに掲載してあります。

#### 予算審査特別委員会 審査報告

平成24年度印西市各会計補正予算(一般会計、介護保険特別会計)を重点的に審査するため予算審査特別委員会に付託しました。

予算審査特別委員会は、12月10日に開催され、活発かつ慎重な審査を行いました。

ここでは、審査における主な質疑及びその答弁について要約して掲載します。

##### 〔審査結果〕

◆平成24年度印西市各会計補正予算(一般会計及び介護保険特別会計)〔可決〕

##### 〔一般会計〕

①質疑 法人市民税が2億7890万円増額となった理由は。

答弁 平成24年度当初予算では、法人税率が4.5%引き下げられるため、法人税額が減ると予測したが、大きな影響がなく、この額は収入として見込めるので、増額補正した。

②質疑 電子計算費の委託料が863万2000円の減額になっている理由は。

答弁 電力料金の値上げ分である。平成24年の4月から10月末までが東京電力で1kw当たり1円80銭、11月1日からは、PPS(特定規模電気事業者)に切り替え、1kw当たり46銭となっている。

答弁 税資料の保管方法を

見直し、データの移行作業費が不用になった事、被災者支援システムに住民基本台帳法に基づく住民基本データを連動するシステムを職員が作ったので、その委託費が不用になった事、更に統計処理方法の見直しにより節減がはかれた。

③質疑 新設の保育園に対する補助金の内訳は。

答弁 民間保育園の助成費は1億3265万6000円で、内訳は、民間保育園の施設整備等の補助金が1億1458万1000円、私立の保育所の委託料と管外保育の委託料で1807万5000円となっている。このうち、市の負担は1273万1000円である。

④質疑 教育費の中の光熱水費について、増額の理由は。

答弁 電力料金の値上げ分である。平成24年の4月から10月末までが東京電力で1kw当たり1円80銭、11月1日からは、PPS(特定規模電気事業者)に切り替え、1kw当たり46銭となっている。

⑤質疑 放射線対策事務に要する経費は、今後の除染対策のためか。

答弁 除染の申し込みが、小学生以下の子どもがいる家庭、または妊婦がいる家庭で306件、一般で96件、集合住宅で15件あった。平成25年1月中旬から除染を行うための費用だ。

⑥質疑 放射線対策事務に要する経費は一般財源となっているが、将来的にこの費用は東京電力(株)に請求できるか。

答弁 3月補正の段階で国からの補助金として歳入の補正を考えている。また、国の補助対象とならないものに関しては、東京電力に賠償請求していきたいと考えている。

〔介護保険特別会計〕  
質問 介護従事者の待遇改善制度が廃止になった理由は。

答弁 これは介護従事者処遇改善臨時特例交付金で、平成21年度に実施された介護保険料の改定で、介護保険料の上昇を抑制するために国から交付されたもの。その要綱に、24年3月31日をもって基金を解散するとなっている。

# 一般質問

平成24年第4回定例会では開会日から4日間、15人の議員による個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。

## 個人質問 コストコ・カインズで 集客力県1位を目指せ

中澤 俊介

**質問1** 千葉ニュータウンに進出予定のコストコホールセールジャパン(株)(※以下、コストコ)、(株)カインズによる雇用創出について伺う。

の予定で、雇用については約110店舗の販売スタッフとして、約1000人を見込んでいます。

**環境経済部長** 両社に確認したところ、開業時期は、共に平成25年夏の予定で、雇用は、コストコで約500人、カインズで約350人と聞いている。

また、同社では、近隣自治体との広域連携を図るため、同敷地内に近隣自治体の情報提供ブースの設置を検討している。

**質問** 両社の年間利用者予測(集客力)について伺う。

**質問3** 都市再生機構によると、千葉ニュータウンで、年間2500万人のエリア集

**答弁** 公表はしていないが、両社をあわせ約13ヘクタールの敷地面積となることから、同規模の(株)ジョイフル本田と同程度を期待している。

**質問2** 印西市に隣接する酒々井町では、東関東自動車道酒々井インターチェンジの供用開始と同時に酒々井プレミアム・アウトレットがオープンと聞かれますが、経済波及効果について伺う。

**質問** 地元企業の育成について①関係機関との連携について②地域経済振興条例の制定に向けた取り組みについて

**環境経済部長** チェルシージャパン(株)に確認したところ、開業時期は、平成25年春

は、業種に限らず、各事業者の経営改善、指導に力を入れていくことである。市としても、地元企業全体の育成につながるよう、商工会と連携を図っていく。市内農産物の出荷額の増加、市内農産物の学校給食への供給品目の増加及び食育活動拠点の創出等の目標を西印旛農業協同組合と協力、推進することにより、市の農業課題である担い手育成、地産地消の推進及び遊休農地の解消に繋がると考える。

## 個人質問

### 地元企業の育成について

小川 義人

の出荷額の増加、市内農産物の学校給食への供給品目の増加及び食育活動拠点の創出等の目標を西印旛農業協同組合と協力、推進することにより、市の農業課題である担い手育成、地産地消の推進及び遊休農地の解消に繋がると考える。②地元企業の育成や支援をするうえで、新たな条例の制定が必要であるか、現在検

討している。

**質問** ①答弁内容は、市長就任前と何か違うか。

**市長** ②地元企業が元気であつてほしいと願っている。そのため、条例制定も必要かと思いましたが、条例制定が全てではないことから、今実施している施策の成果等を見極め、必要であると思えば、制定に向け指示をしていきたい。

**環境経済部長** ①地元企業の育成など地域が活性化するうえで、商工会や西印旛農業協同組合など、関係機関との連携については、重要である

**その他の質問**  
・シテイセールスについて  
・交通施策について

## 個人質問 道路、跡地活用、 クリーンセンター問題

大塚 輝男

**質問1** 本埜地区の安食卜杭中田切線、笠神中田切線、竜腹寺線の進捗状況は。

**都市建設部長** 安食卜杭中田切線は、平成27年中には全線の供用を開始する。竜腹寺線は、補助金の準備が整い次第、工事に着手する。

**質問2** 印西消防署本埜分

署が支所内に入るが、状況は。  
**総務部長** 改修工事の完成は、平成25年1月末で、施設での業務は2月1日から開始する。

**質問3** 印旛高校跡地の有効活用について、市民説明会の内容と、跡地に美術館等の建設は、いかがなものか。

## 企画財政部長

跡地活用検討市民会議の設置、市民アンケートやパブリックコメントの実施、全員協議会や街中懇話会等から意見を聞き検討してきた。その中で、跡地のシボルとなる様な施設を整備したらどうかという意見もあり内容を精査し検討していく。

**質問4** メタルアートミュージアム光の谷美術館について、経過と今後はどうか。  
**教育部長** 平成23年9月に、所有者から寄付の申し出を受け、平成25年4月1日から市立美術館として開館の予定だったが、平成24年9月に

寄付を取り止める連絡があり、協議を中止した。なお、所蔵している作品は、本市出身の香取秀真氏の作品が中心であり、再度申し出があれば、十分検討していく。

**質問5** クリーンセンター施設の5年間凍結の意味と、施設が更新されるまでの、延命化対策の費用と年数は。  
**市長** 今年度の組合予算を凍結しただけである。延命化対策については、今後、環境整備事業組合で劣化診断等を行い、延命化の計画が策定されるものと考えられる。

## 個人質問 クリーンセンター・ 防災井戸・コスモス畑は

松尾 榮子

**質問1** 印西クリーンセンター更新問題について。市長は前議会で「無駄遣いと言ったのは40億円の土地代のこと」と「200億円の無駄遣い」の訂正をされた。これも実は22億円程度である等、他にも様々なことが明らかにになり、市長の言われる案は決して安上がりでなく簡単でもなかったことが、今さらのように明らかになってきた。最も困るのは、先の見通しのない白紙撤回により、現施設の老朽化への対応が遅れ、周辺地区への影響やごみ処理事業への影響が出ること、また多額の延命措置を施して5年間延長しても候補地が決まらず、建設地が宙に浮いてしまうことである。その結果時間切れで建

設地が現在地に戻るという事態になれば、これまで30年間施設を引き受け、今回市長の言を信じた市民の期待を大きく裏切ることになるが、どうか。

**市長** 9住区への移転計画は白紙撤回する。現在地についても、まちづくりにあわせて、まじぐりにふさわしくないと考えている。

**質問2** 多くの自治体で避難所への防災井戸の設置を進めているが、市の対応は。  
**総務部長** 簡易的な井戸の設置と併せ、浄水器等の計画的な配置を検討していきたい。

**質問3** コスモス里山まつりが今年で終了した。市のコスモスマつり終了後、市民活動団体が長年、里山まつりを実施し、コスモスのまち印西



本埜支所内に入る印西消防署本埜分署

のイメージをつないできてく  
れていた。牧の原公園とコス  
モス畑は今後どうするのか。  
**都市建設部長** 牧の原公園  
は来年度から約5ヘクタール  
の地区公園として市が管理す  
る。コスモスの植栽は、生活  
の中のうるおい、憩いの場の  
提供の観点からも検討してま  
いりたい。

**個人質問**  
**子ども・子育て支援事業計画  
の策定について**  
浅沼 美弥子

**質問1** 子ども・子育て支  
援3法を踏まえた、子ども・  
子育て会議の設置及び事業計  
画策定について伺う。

**市長** 子ども・子育て会議  
の設置に向け検討している。  
県からは、計画策定に必要な  
ニーズ把握のための調査費の  
確保について通知もあった。  
今後、国・県の説明会の動向  
をみながら進めていく。推進  
体制については今後検討する。

**質問2** 市民サービスの向  
上①各種証明書のコンビニ交  
付について②土日開庁・開所  
時における出生届け提出時  
に、児童手当や子ども医療費  
の申請書の提出ができるよう  
に改善できないか伺う。

**市民部長** ①窓口業務の省  
力化・効率化が図られる等、  
行政コストの削減が可能とな  
る。②諸手続きを1カ所の窓  
口で完結できるようにするこ  
とは市民の便益向上に資す  
る。現在ワンストップサービ  
スを行っている先進事例を参  
考に調査研究する。

**個人質問**  
**市政運営と情報提供  
に関する広報について**  
岩崎 成子

**質問1** 印西クリーンセン  
ター施設移転問題、現計画の  
白紙撤回で、市長と職員との  
信頼関係をはじめとする一

感の構築が図られていないと  
思うが見解を伺う。  
**市長** 今回の場合は、時間  
的な関係で職員とのすり合わ  
せ及び調整が十分図られなか  
ったことなどにより、議員の  
皆様に誤解や心配をお掛けし  
たことは、私としても大変申  
し訳ないと思う次第である。  
今後は、議員ご指摘の点も  
踏まえて、更に職員との意思  
疎通を深めることで、一体的  
な行政運営を進めていきたい。

**質問2** 「いんざい正直ニ  
ュース」は、発行がクリーンな  
印西をつくる会で、代表は市  
長である。市民が連絡先に電  
話をしたら、「Yです」と電話  
に出た。会の代表は市長、連  
絡先は市長ではないがどうい  
うことなのか伺う。

**市長** 市民からの問い合わせ  
については、当然、私が受  
け持つことは、当然、私が受  
け持つことである。市長、連  
絡先は市長ではないがどうい  
うことなのか伺う。

**質問1** クリーンセンター  
白紙撤回問題は5年間凍結、  
と言っているがその間何もや  
らないのか。新たな土地探し  
にすぐ取り掛かることが重要  
だ。

**市長** 環境影響評価等の予  
算の凍結を言ったもので、一  
けるべきものと認識している  
が、私も公務が多々あり、時  
間的に困難なので、Y氏にお  
願いしている。いただいたご  
意見、ご要望については、Y  
氏から報告を受けている。

**質問2** 健全な財政運営の  
ために、国が定めた財政健全  
化法がある。予算編成作業で  
市長と議論できたか。各部長  
は市長に遠慮せずにものを言  
わないと。  
**市長** 市の財政は厳しいと  
認識。  
**企画財政部長** 市長にもだ  
めなものだめという。  
**質問3** 学校でのネットい  
じめ対策を問う。江戸川区で  
は条例を制定し民間会社に依  
頼、書き込みをどんどん消し  
ている。結果陰湿なものは  
70%減少した。印西で講じて  
いる対策は。  
**教育長** 携帯電話の所持率  
の増加や低年齢化に伴い、指  
摘通り看過できない。ネット  
いじめを許さない環境に努め  
たい。

**質問1** クリーンセンター  
白紙撤回問題は5年間凍結、  
と言っているがその間何もや  
らないのか。新たな土地探し  
にすぐ取り掛かることが重要  
だ。

**市長** 環境影響評価等の予  
算の凍結を言ったもので、一  
けるべきものと認識している  
が、私も公務が多々あり、時  
間的に困難なので、Y氏にお  
願いしている。いただいたご  
意見、ご要望については、Y  
氏から報告を受けている。

**質問1** ①紙、布、ビン、  
アルミ、鉄の5分別実施の団  
体は、117団体で、2034  
トンが資源化(1913トン  
は紙類)され、団体には総額  
1220万円が交付される。  
1団体平均額は11万4000  
円。最高額は154万600  
0円だ。奨励金単価は6円/  
kg。交付単価を上げ、回収率  
を高める考えはないか。②埼  
玉県戸田市・蕨市は生ゴミを  
堆肥化し、長野県小布施町に  
無料提供、残りは花の栽培に  
利用、そこでは障害者や高齢  
者が雇用されている。堆肥化  
のためのスペースも小スベ  
イで可能だ。市も戸田市への  
視察を。

**質問2** 消費生活センター  
の拡充を―消費者保護の為に  
も相談日を週4日から5日と  
し、更に相談員の体制強化と  
処遇改善を求める。  
**環境経済部長** 相談件数は  
年300件を見込んでおり、  
来年度から1日1時間増やす。

**質問3** 子どもへの安全、農  
業を守り、イノシシの駆除を  
―近年イノシシの出没で農産  
物が荒らされ、暮らしが脅か  
されている。増加の原因は。  
**環境経済部長** 県生物多様  
性センター研究報告によると  
人為的に放獣されたとのこと。  
ニュータウンの開発が原因と  
は考えにくい。有害鳥獣の駆  
除は協議会で対応を検討する。

**質問4** 全小中学校に学校図  
書館司書を―全中学校の配置  
で児童生徒、教師らに大きな  
効果が表れている。全小学校  
にも配置を。併せて司書の仕  
事に見合う待遇改善を強く求  
める。  
**教育長** 環境の整備で読書  
への興味関心が高まり、貸出  
冊数の増加等がある。昨年導  
入の学校図書館システムによ  
り、余裕ができた時間を学習  
支援に活かすことができ、充  
実した業務が図られた。

**個人質問**  
**責任ある政治を  
スピードを持って  
上條 公司**

**質問1** クリーンセンター  
白紙撤回問題は5年間凍結、  
と言っているがその間何もや  
らないのか。新たな土地探し  
にすぐ取り掛かることが重要  
だ。

**市長** 環境影響評価等の予  
算の凍結を言ったもので、一  
けるべきものと認識している  
が、私も公務が多々あり、時  
間的に困難なので、Y氏にお  
願いしている。いただいたご  
意見、ご要望については、Y  
氏から報告を受けている。



消費生活センターでは消費生活相談員による商品品質、訪問販売の苦情などの相談を受け付けています。

# 公共施設の維持管理には 莫大な将来負担が

海老原 作一

**質問1** 市道の現状と課題についてどう認識しているのか。

**市長** 車道舗装面積は、千葉ニュータウンの工事完了時点で322.5ヘクタールとなる。また、これらの道路施設を適正に維持管理していくと莫大な費用がかかると考えている。

**質問** 今後20年間の舗装修繕費用をどう見込んでいるのか。

**都市建設部長** 約104億円と見込んでいる。

**質問2** 学校施設の現状と課題についてどう認識しているのか。

**教育部長** 市村合併や千葉ニュータウンの開発により学校施設が増加した事、また、総体的に老朽化が進んでおり、大規模改修等には、相当な経費が必要と考えている。

**質問** 築年から20年以上経っている施設や建物を有している学校はいくつあるのか。

**答弁** 小学校が15校、中学校が7校、併せて29校中22校がそれに該当する。

**質問** 今後20年間の維持管理費、大規模改修費、建替え費用の累計額をどう見込むのか。

**答弁** 維持費約45億円、部分的改修工事費約12億円、大規模改修費約100億円、屋内運動場約15億円、運動場約9億円と見込んでいる。

**質問3** 今後20年間における公的施設の整備・更新費用及び維持管理費の合計金額は約422億円、1年あたり約21億円であることからストックマネージメントが必要であり、公共施設管理台帳とそのデジタル化、一元的な管理体制の確立が必要と思われるが、総務部長、必要性については認識しており、今後、関係部と連携し検討していく。

規模な補修を行う工事と、年度当初工事箇所を定め計画的に行う工事により既存地区の道路修繕を行っている。

**質問2** 市道山田・平賀線の修繕計画について。

**都市建設部長** 市道山田・平賀線については、交通量の増大や車両の大型化により、場所によっては路面の破損が著しく、危険性や緊急性を考慮し舗装の修繕を行っている。

**質問** 今年度についても、引き続き修繕工事を予定している。

**答弁** 鳥類については一斉駆除の回数が増え検討する。小動物は捕獲を重視した取り組みを進める。イノシシについては、地域ぐるみによる捕獲体制について検討する。

**質問3** 有害鳥獣駆除対策の取り組み状況について。

**環境経済部長** アライグマは生息調査と捕獲を、捕獲従事者を雇用し実施している。また小動物の捕獲をワナ免許の保有者が登録されている印西市シルバー人材センターに、鳥、イノシシなどの駆除を印西猟友会に委託している。

**質問** 今後の取り組みについて。

**答弁** 鳥類については一斉駆除の回数が増え検討する。小動物は捕獲を重視した取り組みを進める。イノシシについては、地域ぐるみによる捕獲体制について検討する。

**その他の質問** 教育政策と施策について



印西市のイノシシ(自動撮影カメラによる撮影2011年11月17日)——千葉県イノシシ対策マニュアルより

## 北総線高運賃問題— 「北対協」の改組を

雨宮 弘明

**質問1** 白井市との「北総線運賃問題対策協議会」(以下「北対協」)の活動について。

平成22年7月から北総線運賃は4.6%値下げになったが、これは、県と沿線6市が26年度末まで毎年3億円の補助金を出し、北総鉄道(株)も同額拠出することで実現した。ところが6市分1億5000万円の77%は印西市と白井市で負担している。従って2市による「北対協」の活動がカギになるが、今期どのような活動をしてきたか。

**市長** 「北対協」については、平成24年8月に臨時総会を開催し私が会長に就任した。今年度は、幹事である担当課長を中心に北総鉄道の経営状態等について、千葉県や沿線市とも意見交換し、共通理解を図っていくことにしている。

**質問** 「幹事である担当課長を中心に」との答弁だが、「北対協」の規約では、「本会は印西市及び白井市の長及び議会の議長をもって構成する」

**質問** 「幹事である担当課長を中心に」との答弁だが、「北対協」の規約では、「本会は印西市及び白井市の長及び議会の議長をもって構成する」

**質問** 高花6丁目西自治会の「募金横領疑惑事件」について、市としてはだが、どのような調査をしたか。

**健康福祉部長** 日本赤十字社の社資募金に関する確認については、日本赤十字社千葉支部印西市地区の窓口として担当している社会福祉課が中心となり当たっている。当時の自治会長、現自治会長、日本赤十字社千葉支部に対し確認している。当時の自治

ことになっている。議会からも幹事を出し、行政と議会が一丸となって活動する体制にすべきだ。

**市長** いまの提案については考慮する必要があると思うので、白井市の考えも伺って協力して取り組んでいきたい。

**質問2** 北総鉄道の合意不履行について。

補助金の支出は4.6%値下げすると、20年度の北総鉄道の運輸収入を基準にした場合6億円の減収が予想されたため、自治体側が補助金として3億円出し、北総鉄道も同額の3億円を拠出するとの合意によるものだ。北総鉄道はどのように3億円を拠出したのか。

**企画財政部長** 北総鉄道の決算書では見えにくい。県及び6市で協議し質していきたい。

## 募金横領疑惑事件に 市はどう対応するのか

山本 清

**質問1** 高花6丁目西自治会の「募金横領疑惑事件」について、市としてはだが、どのような調査をしたか。

**健康福祉部長** 日本赤十字社の社資募金に関する確認については、日本赤十字社千葉支部印西市地区の窓口として担当している社会福祉課が中心となり当たっている。当時の自治会長、現自治会長、日本赤十字社千葉支部に対し確認している。当時の自治

**質問** 調査によって、どのような事実が判明したか。

**答弁** 現自治会長から回答を得たところでは、当時の自治会長が持参した募金については、個人的な判断により行ったことで、自治会の総意ではない、とのことだった。ま

### 会議録がインターネットで閲覧できます。

ホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/inzai/inzai.html>

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約してあります。今までの会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。

なお、従前どおり、会議録は次の場所で閲覧できます。第4回定例会の会議録は、3月上旬頃閲覧開始予定です。

- ◇議会事務局(市役所5階)
- ◇行政資料コーナー(市役所1階)
- ◇支所(印旛・本埜)
- ◇市内図書館6館(大森、小林、小倉台、そうふけ、印旛、本埜)



た自治会としては、当時の自治会長に募金の返金を求めるといった回答を得ている。

質問 今回の募金では、問題となつている4年分を受け取った健康福祉部、社会福祉課も調査対象であり、調査は、健康福祉部ではなく総務部が中心となるべきではないか。

今後、市としてどうするつもりか。

総務部長 警察とも相談しながら、対応していきたい。

個人質問

市長は真摯に反省し、素直に謝罪せよ

橋本 和治

質問1 森林を伐採するには、事前に届け出が必要だ。

板倉市長は、平成23年3月、無届けで伐採し、更にその後1年半も届け出をせず、森林法に違反し続けたのは何故か。

市長 千葉県企業庁から「伐採届けが必要」との説明がなかった。しかし、平成24年8月に、企業庁から、伐採届けが必要であったとの連絡があり、伐採届けを提出した。

質問 森林法に違反したことに ついて、この場で市民に謝罪する考えはないか。

答弁 私に何らやましいところははない。

質問 今の態度は、市のトップリーダーとして問題ではないか。市長は企業庁からの連絡で気付いたと答弁したが、市長が提出した届け出による「印西市の担当部局からの(略)指摘」となっている。届け出の記載と、市長の答弁と

質問2 巨大学童クラブの分割については、どのように考えているか。

健康福祉部長 滝野学童クラブは、現在のところ75人の児童が入所しているが、分割する場合は増築と学校施設内での対応が考えられ、学校など関係機関と検討している。

その他の質問

- ・学校のエアコン設置
・ゴミ減量化の推進

どちらが正しいのか。

答弁 私の答弁だ。

質問 では、市長は市に対して、虚偽の届け出をしたのか。コンプライアンスに欠けるのではないか。市と企業庁とどちらが真実か。

答弁 企業庁からの連絡だ。

質問 そうであれば、市への届け出はウソか。

答弁 市からの指摘が先であった。

質問 市からの指摘が先なのに、市長は事実と違う事を答弁した。板倉市長とは、そういう答弁をする人間である、と、理解する。9月にもこの問題を質問したのに、不誠実な対応をしたのは何故か。

答弁 そのときは、質問の趣旨がよく理解できなかった。

その他の質問

- ・クリーンセンター移転問題
・コンプライアンス条例制定
・債権管理について 他

個人質問

病院問題・野焼き・学校安全対策について

軍司 俊紀

質問1 印西総合病院の開院と市の協力体制について、二次救急体制の構築のために医療法人緑生会の理事長と話し合うつもりはあるか。

市長 手を上げて入ってきた病院なのでしつかりやっていただきたい。

質問 市長公約で二次救急医療体制を構築するとあるが、現状では医療法人緑生会に対して財政的な援助は考えられないか。

答弁 今の段階では考えてはいない。

質問2 野焼きについて、実態をどのようにとらえ、対処は関係機関との連携はどれくらいか。

環境経済部長 実態として、家庭ごみの焼却、産業廃棄物の焼却等の法律上禁止されている行為の他、例外規定の焼却行為がある。また、啓発活動を行っている。

質問3 学校における安全対策について、交通安全面以外で印西市が考える学校生活の安全対策としてどのようなものがあるか。

教育部長 交通安全面以外の学校生活の安全対策については、防災対策と防犯対策があり、各学校の実情に即した危機管理マニュアルを作成して、児童生徒の安全確保に努めている。

質問 学校内の安全安心はどのように確保されているのか。

教育部長 健康診断、施設及び設備の安全点検、環境に関する環境衛生検査などを定期的にを行い、安全な環境の確保を行っている。

その他の質問

- ・印西クリーンセンター移転問題の今後について
・放射線・放射能対応について(学校生活について)
・有地除染について
・牧の原駅圏の将来について(商業施設・郵便局・交通安全について)

交通安全・防犯・学校運営・ごみ処理行政

近藤 瑞枝

質問1 千葉県「交通白書」では前年度交通死亡事故死者数は175人、前年から9人減少した。当市の交通安全、自転車利用への指導はどうか。

市民部長 子どもたちには教育委員会等と連携し体験・実践型「交通安全教室」を毎年開催。高齢者には希望されたシニアクラブで安全指導を行っている。

質問 自転車利用者の被害者減少のために効果的な事業を行うべきでは。

答弁 「印西市自転車条例」が平成25年4月1日から施行される。啓発・指導を実施する。

質問2 当市の犯罪発生状況・防犯体制は。

市民部長 犯罪認知件数は減少。しかし、振り込め詐欺が多様化・巧妙化。情報が入り次第、防災メールを発信、職員が青色パトロール車での広報を実施している。

質問 警察や行政まかせにせず、市民も「自分たちの街は自分たちで守る」という自主防犯意識を持つべき。滝野地区も防犯組合が設立された。そこで、前回提案した、防犯灯を市一括管理にする考えは。

答弁 校長会からも要望があり、予算措置に努力をする。

質問4 ゴミ焼却場問題は一刻を争う状況だ。古い考えに固執せず柔軟かつ迅速に対応を。

市長 一刻も早く建設を目指して頑張っていきたい。

答弁 検討していく。

質問3 学校運営における消耗品・備品購入の予算額は他市と比較していかがか。

教育部長 単純な比較は難しいが1校当たりの平均額は他市を下回っている。

質問 エアコン・プールという市民に非常に分かり易い施策もあるが、まずは、施設が整い教材が足りていることが、適正で円滑な学校管理・運営上、必要不可欠である。十分な予算措置を。

答弁 校長会からも要望があり、予算措置に努力をする。

質問4 ゴミ焼却場問題は一刻を争う状況だ。古い考えに固執せず柔軟かつ迅速に対応を。

市長 一刻も早く建設を目指して頑張っていきたい。



犯罪発生防止のため、パトロール、広報活動を行っています。

「いんざい市議会だより」の1面に掲載する写真を募集しています。

【題材】 印西市の四季折々の風景
【応募資格】 市内在住、在勤または在学の方
詳細については議会事務局までお問い合わせください。

【議会事務局】 ☎0476-42-5111(代) 内線 607・608

《議会を傍聴してみませんか》

次の定例会は、2月18日(月)～3月22日(金)の会期予定です。開会は午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。

本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。

アドレスは http://www.discussvision.net/inzaisi/index.html
なお、日程が変更になる場合もありますので、お問い合わせください。



# 各常任委員会での審査

一部の議案について、所管の常任委員会に付託し、審査を行いました。12月11日に建設経済常任委員会、13日に総務企画常任委員会をそれぞれ開催しました。

ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた主な議案の質疑及びその答弁の一部について掲載します。

## 建設経済 常任委員会

【議案第2号】印西市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の制定

【議案第2号】印西市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の制定について(開発行為等の許可について千葉県から事務の移譲を受け、開発許可等に係る事務権限を有する事務処理市へ移行することに伴い、当該事務を行うに当たり必要となる基準を定めた条例を制定するもの)

質疑 今回、なぜ、印西市は開発許可権を有する「事務処理市」になるのか。

答弁 平成25年度の千葉ニュータウン事業の収束を控え、開発許可に関する条例の制定権を有する事務処理市になることで、市の実情にあった条例を定め、きめ細やかな開発指導を行っていくためである。

質疑 「事務処理市」になると、市民にとってどのようなメリットがあるのか。

な開発指導を行うことができると考えている。

【議案第9号】印西市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について(泉公園のパークゴルフ場を加えるとともに、その使用料を加えるもの)

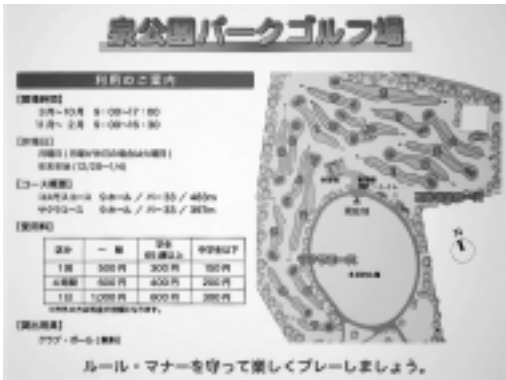
質疑 泉公園の概要と供用開始について。

答弁 全体で3万8000㎡、その中でパークゴルフ場は約1万5000㎡、多目的広場は約5500㎡、ほかに駐車場、駐輪場、管理棟、トイレ、倉庫、休憩所という施設がある。  
公園としてのオープンは平成25年4月1日を予定しております、パークゴルフ場は、4月

パークゴルフ場案内看板



パークゴルフ場



## 総務企画 常任委員会

の時点での芝の育成状況から、これを判断していく。

【議案第4号】特別職の職員

【議案第4号】特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について(消費生活相談員の報酬の日額を「8000円」から「9600円」に改めるもの)

質疑 開設時間の1時間延長の起点をどこにするのか。また、現場の声を聞いたのか。

答弁 開設時間は前30分、後ろ30分を延ばす予定である。実務をとっている相談員と相談し、それらを踏まえて決定したい。

質疑 相談員の人材確保を図る観点からとあるが、どういう傾向にあるのか。

答弁 自己都合により任期途中で辞めた方はいる。ここでの人材確保は、優秀な人材が欲しいという状況で、報酬の改定をお願いしている。

質疑 相談件数の状況と相談員で解決がつく、つかないといったケースの状況は。

答弁 相談件数は平成21年度103件、22年度201件、23年度228件、今年度は300件弱を見込んでいます。

23年度の実績で、電話相談が183件、来庁が45件である。1日で解決がつくものもある。複数日かかるものもある。内容により、弁護士を紹介するなど、関係機関と連

携し、なるべく解決がつくような方向で実施している。

【議案第5号】特別職の職員で常勤のもの及び教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について(市長及び副市長の給料及び期末手当並びに教育長の給料、期末手当及び勤勉手当を平成24年12月31日まで3%減額して支給する条例)について、減額する期間を2年間延長し、平成26年12月31日までとするもの)

質疑 財政状況を勘案しとということだが、財政状況がどれくらい好転したら、この期限を切り上げるのか。

答弁 平成25年度予算編成方針で厳しい財政状況が続くと締めくくられている。財政局と協議、検討したなかで判断していきたい。

## 発議案

▼「原発事故子ども・被災者支援法」の対象地域指定を国に求める緊急要請と放射線の被曝に対する長期的、効率的な検査体制を求める意見書の提出について

超党派で成立した「原発事故子ども・被災者支援法」に基づき、この法案の地域指定として「印西市」が含まれるよう。また、期限を定めないうで放射線の被曝に対する長期的、効率的な検査体制を継続していくことを早急に求めるもの。

## 議会運営委員会 活動報告

◎ 議会運営委員会は、議会の運営に関することや議会の規則に関すること、議長との諮問に関することなどを担当しています。委員会の定数は10名で、原則として会派2人につき1人の割合で選出しています。

市議会の定例会や臨時会を開催する際は、議会招集の告示日に議会運営委員会の告示日に議会運営委員会を開催し、議会の日程や議案等の取り扱い、一般質問及び請願・陳情の取り扱いなど議会の運営について審議しています。

また、定例会終了後には、その定例会の検証会を開催し、議会運営に関する問題点、改善すべき点などを協議し、次の定例会の運営に反映できるようにしています。

◎ 現在、議会運営委員会が重要課題として取り組んでいるのは、議会改革と地方自治法の改正に伴う会議規則、委員会条例の見直しです。併せて、傍聴規則の見直しも行っています。

● 議会改革については、議会改革推進特別委員会とも協議し、それぞれの役割分担を明確にして取り組んでいます。最近では、議会の質疑や質問の際の「反問権」を導入しました。「反問権」

とは、市長等が、議員の質問に対して論点・争点を明確にするため、逆に質問することです。議会が議論の場であるためには、議員側、市側の双方が質問できて当たり前との考えから、議会改革の一環として多くの議会で導入が進められていいます。反問されることにより筋書きのない展開が生まれ、議員も質問事項を十分精査した上で政策論争に臨まなければならなりません。

● 地方自治法の改正に伴い、会議規則、委員会条例の見直しを行っています。見直しのための集中的な検討会を平成24年11月、12月に4回開催し、改正内容を協議したうえで、改正案を議長に報告しました。この改正案は平成25年の第1回定例会に、議会運営委員会の提案により、議案上程され、審議される予定です。

また、傍聴規則の見直しも行っています。市民の皆様に分りやすい傍聴規則となるよう、検討作業を進めています。見直しの内容が固まり次第、議会の同意を得て、市民の皆様にお知らせいたします。

# 平成24年第4回定例会 議案等議決結果

| 議案番号  | 付議事件   | 議決の結果 |
|-------|--|-------|
| 承認第1号 | 専決処分の承認を求めることについて(平成24年度印西市一般会計補正予算(第4号))              | 承認    |
| 議案第1号 | 印西市小規模水道条例の制定について                                      | 原案可決  |
| 議案第2号 | 印西市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の制定について                   | 修正可決  |
| 議案第3号 | 印西市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について | 原案可決  |
| 議案第4号 | 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について           | 原案可決  |
| 議案第5号 | 特別職の職員で常勤のもの及び教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について    | 原案可決  |
| 議案第6号 | 特別職の職員で常勤のもの、教育委員会教育長及び職員の旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 原案可決  |
| 議案第7号 | 特別職の職員で非常勤のもの旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について              | 原案可決  |
| 議案第8号 | 印西市税条例の一部を改正する条例の制定について                                | 原案可決  |
| 議案第9号 | 印西市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について                             | 原案可決  |

| 議案番号     | 付議事件   | 議決の結果 |
|----------|--|-------|
| 議案第10号   | 印西市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について                                     | 原案可決  |
| 議案第11号   | 平成24年度印西市一般会計補正予算(第5号)   | 原案可決  |
| 議案第12号   | 平成24年度印西市介護保険特別会計補正予算(第2号)   | 原案可決  |
| 議案第13号   | 字の区域及び名称の変更について  | 原案可決  |
| 議案第14号   | 字の区域及び名称の変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について                                     | 原案可決  |
| 議案第15号   | 印西市道路線の認定について  | 原案可決  |
| 議案第16号   | 千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について                                  | 原案可決  |
| 発議案第1号   | 「原発事故子ども・被災者支援法」の対象地域指定を国に求める緊急要請と放射線の被曝に対する長期的、効率的な検査体制を求める意見書の提出について | 原案可決  |
| 請願第24-4号 | デマンド交通、乗り合いタクシーの運行を印西市に求める請願   | 不採択   |
| 請願第24-6号 | 印西クリーンセンターごみ処理施設について住民と行政のコンセンサスをつくるため、公募による市民検討委員会の設置を求める請願           | 不採択   |
| 請願第24-8号 | 消費税の増税中止を政府に求める請願  | 不採択   |
| 請願第24-9号 | 斉藤光彦市議が会長をしていた高花6丁目西自治会の募金問題等に関する請願                                    | 継続審査  |
| 同意第1号    | 印西市副市長の選任につき同意を求めることについて   | 同意    |

## 委員会の視察研修報告

### 総務企画常任委員会

総務企画常任委員会は平成24年10月24日から同26日まで、兵庫県宍粟市、岡山県瀬戸内市、大阪府箕面市への行政視察を行った。視察には委員8名が参加し職員が3名同行した。

宍粟市では、地域住民によるバス運行について研修を行った。



民間路線バスの休止にともない市と地域代表が説明会と意見集約を行うなかで、地域団体の代表者による運営委員会が設置され、地域住民によるバス「思いやり号」の運行が平成20年4月に開始された。10人乗り市公用車を活用し、乗務員は有償ボランティアで、運賃は、路線バス運賃を基本にし、市の支援は助言等や運営に関する経費助成及び車両維持費用の負担を行っている。早期にバス名を「思いやり号」と命名したことにより地域の助け合いによる運行という理念が明確になり、運行計画を策定する上で、大きな力となった。

瀬戸内市では、オンデマンド交通(\*)について研修を行った。

交通弱者に対し、路線の維持拡充や利便性が確保できるデマンド交通等の整備を進めるなかで、牛窓地域が他市域よりも著しく公共交通が利用しにくいという結果を踏まえ、生活交通プロジェクトチームを設置し、交通のあり方の検討に入った。デマンドバスの愛称を「モーモーバス」と決定し、住民移動実態アンケート調査を実施し、平成24年7月1日に実証運行を開始した。実施主体は市であり、指定管理者により、乗客定員9名のワゴン車2台を使用し、利用料金は一日300円とした。乗降場所は、自宅、公共施設、医療機関、商店、金融機関、ごみステーションなどとし、事前登録制で電話予約が可能である。

箕面市では小学校区単位の防災組織設立について研修を行った。

阪神・淡路大震災から17年、市民の防災意識も薄れつつある中、東日本大震災が発生、もし同じような災害が発生したら十分な対応ができるのか、改めて考えるきっかけとなった。

市域全体が被災した場合、行政のできることは有限である。この事実を直視し、行政を中心とした防災体制を見直し、平成24年3月、箕面市災害時における特別対応に関する条例を制定し、災害対策に係る事務を他の事務に優先する規定、高齢者、要介護者、障害者等の名簿を、小学校区の地区防災委員会に交付し、安否確認の委任などを盛り込んだ。

\*利用者の要求に対応して運行する形態のバス。

### 文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会は平成24年10月15日から同17日まで北海道旭川市、幕別町、釧路市への行政視察を行った。視察には委員7名が参加し執行部から2名、議会事務局1名の職員が同行した。

旭川市では「社会教育基本計画」、幕別町では「町立保育所の民営化」、釧路市では「生活保護(自立支援プログラム)」について、それぞれ担当者から説明を受けた後、質疑応答を行った。

旭川市の「社会教育基本計画」は、総合計画で「生涯学習社会」を目指す都市像実現の具体的なまちの姿のひとつとしており、それを受けて策定した「旭川市生涯学習推進基本方針」(平成19年10月策定)に基づき、その基本目標と重点項目の達成に向けて、社会教育行政が果たす役割と基本的取り組みを示したものである。基本計画の特長は、成人教育や青少年教育、家庭教育支援など社会教育活動が中心である。文化芸術活動については、「文化芸術振興条例」に基づいた基本計画、スポーツ・レクリエーション活動については、「スポーツ振興法」に対応した振興計画が策定されており、活動分野で個別の計画を持ち、社会教育の推進を図っている。

幕別町では、「指定管理者制度導入に関する基本方針」(平成19年6月策定)を受け認可保育所5カ所、へき地保育所6カ所の「町立保育所民営化計画」を策定した。民間へ円滑な保育運営の移行を図るための実施方針となる「保育所民営化推進プラン」を策定し、1年間、町と指定管理者による引継ぎ保育を行い、指定管理者により1カ所の運営が行われている。現在、計画の見直しを進め、1カ所の民営化による保育の準備を行っている。他の3カ所は検討中であり、へき地保育所は1カ所が委託、他の5カ所は地域の実情をふまえ、直営の方向である。

釧路市で取り組んでいる生活保護受給者の自立支援プログラムでは、受給者の自尊意識を回復させる為、中間的就労として、地域のNPO等各事業者と協力し、有償・無償のボランティア活動を通じ、生活保護受給者の居場所づくりに取り組んでいる。これを機に、新たな就業の場につなげ、再就職の道が開け、その人なりの自立した生活が営めることを目指して、着実に成果をあげている。自立支援プログラムは「就職支援」、「就業体験的ボランティア」、「就業体験」、「日常生活意欲向上支援」、「その他」に分かれている。

委員会では、今回の視察の成果を今後の施策に活かすことを確認し視察を終えた。



### 建設経済常任委員会

印西市議会建設経済常任委員会は、平成24年10月22日から同24日まで、広島県廿日市市、愛媛県今治市、同西条市への行政視察を行った。

#### ●広島県廿日市市【廿日市市景観計画について】

廿日市市は、世界遺産「宮島」という日本でも有数の観光地を擁する市であるが、近年、様々な色彩・形態の屋外広告物の増加、住宅開発に伴う地形改変や樹林地の減少、大規模建築物の増加による眺望の変化等の課題が増加し、平成23年9月に景観条例、24年2月に景観計画を策定した。

視察では、景観計画策定への取り組み、また景観に重要な影響を及ぼす建造物、樹木、屋外広告物、公共施設等についての指定や制限等について詳細な説明をいただき、活発な質疑を行った。

印西市では平成26年3月千葉ニュータウン事業の収束が予定され、今後、市が主体で魅力あふれる市を築いていくために、廿日市市の取り組みは大いに参考になると思う。

#### ●愛媛県今治市【観光行政について】

今治市は瀬戸内海の美しい島々としまなみ海道等の観光資源を持ち、これらの積極的活用を図る多くの施策を展開している。観光事業では特に尾道市と共同実施するしまなみ海道と周辺スポットを自転車で巡るレンタサイクル事業等に力を入れている。また、ゆるキャラ「パリュさん」は今年度全国ゆるキャラグランプリで1位となり、知名度アップに貢献している。

視察では、これらについての説明・質疑応答の後、当委員会の中澤委員長より、印西市でも昨年度より「いんざい君」が市のキャラクターになり、観光宣伝等で活動を開始したことを報告し、バッジ等を交換。今後のアドバイス、情報交換について、同市からも協力の約束をいただいた。

#### ●愛媛県西条市【農業革新都市総合特区について】

「西条農業革新都市総合特区プロジェクト」は、企業・農業者・行政が協同で生産・加工・流通・販売の仕組みを作り、農業を総合的な強い産業として育成する目標を掲げ、各種事業に取り組んでいる。

平成23年8月に設立された農業法人「(株)サンライズファーム西条」では、約4.8haの圃場でレタスなどを生産・出荷しており、今後は圃場を拡大、パッケージ・加工センターを設立し業務用カット野菜の生産販売へ進出。平成28年度以降には外食産業との連携強化を進め、年間1億円超の売り上げを目指す。視察では、地域農業への効果の波及、流通形態、海外販路等について多くの質問が出され、ていねいな説明を受けた。

建設経済常任委員会では、各市における多くの先進的な取り組みを印西市のまちづくりに反映していく。



# 議会改革推進特別委員会

## 活動報告

平成24年4月から24年末までに計5回の委員会と3回の検討会を開催しました。印西市長選挙や常任委員会等の行政視察でなかなか回数を重ねることができませんでした。

第10回では、優先順位の高い検討項目から、具体的な協議を行いました。

第11回、第12回、第13回では、前回議論した内容をまとめ、その内容をもとに議論しました。

また、第13回では、24年8月に「地方自治法の一部を改正する法律案」が成立したことに伴い、一つ目として、現在在会派に交付されている「政務調査費の名称が「政務活動費」に、交付の目的も改められま

した。二つ目として、「政務活動費」を充てることのできる経費の範囲については、条例で定めなければならぬとされました。三つ目として、議長は「政務活動費」の使用の透明性の確保に努めることとされました。これらにより、早急に条例等の整備をする必要が生じました。「政務活動費」については、議会改革推進特別委員会内に検討会を設置し、検討することになりました。

11月27日行われた第1回検討会では、会の名称を「政務活動費検討会」としました。政務活動費の概要について、説明を受け、共通認識を図りました。この改正にあたり、

経費の範囲を条例で定める際には、透明性の確保に努めることとされていることから、充当経費の適用範囲は拡大することは先送りし、使途基準は現行の政務調査費のものに準ずることとした。また、3月1日の施行に合わせ、条例案策定の作業スケジュールを検討し、早期の条例案作成に向けた準備を行うことになりました。

12月5日に行われた第2回検討会では、現行の「政務調査費に係る条例」の一部を改正する条例を想定し、条例案の新旧対照表をもとに、条項ごとの精査を行い、新条例についての共通認識を図ることができました。

12月19日に行われた第3回検討会では、第2回の懸案事項を再度検討し、検討結果の合意をいたしました。その後開催された第14回、

12月20日開催の全員協議会で、「政務活動費に係る条例案」の検討結果が報告されました。主なものとしては、現行の使途基準を踏襲するこ

と、透明性の確保について明記することなどです。議会内の合意をいただきました。今後は、条例施行に向けた事務作業を進めていきます。

## 請願

▼消費税の増税中止を政府に求める請願(総務企画常任委員会・不採択)

消費税増税中止を求める意見書採択し、政府に意見書を提出することを要望するもの。

▼斉藤光彦市議が会長をしていた高花6丁目西自治会の募金問題等に関する請願(総務企画常任委員会・閉会中の継続審査)

平成24年8月16日に斉藤光彦会長(当時)が社会福祉課及び印西市社会福祉協議会に

持参した100万7200円について、これまで行なってきた調査の経過を直ちに「広報いんざい」に公表すること等を要望するもの。

▼デマンド交通、乗り合いタクシーの運行を印西市に求める請願(総務企画常任委員会・継続審査となっていたもの・不採択)

▼印西クリーンセンターごみ処理施設について住民と行政のコンセンサスをつくるため、公募による市民検討委員会の設置を求める請願(総務企画常任委員会・継続審査となっていたもの・不採択)

## 陳情

▼学校図書館の充実を求める陳情(議員配付)

▼生活保護基準引き下げはしないことなどを国に意見書提出を求める陳情(議員配付)

▼高花第二団地内中央緑道(市道)に関する陳情(議員配付)

▼「印西市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例案」についてまちづくり政策の一貫性・整合性の観点から慎重な調査検討を求める陳情(議員配付)

平成25年の春となりました。千葉ニュータウン事業の収束を間近に控え、印西市においては多くの課題が山積しています。24年12月定例会議では15議員が様々な角度から一般質問を行いました。

多くの課題が次々に出てくるのも、成長途上の印西市であればこそです。日本全体の景気低迷、閉塞感の中で、市では現在も人口増加が続く、大型商業施設の進出が予定されています。印西市は今や、近隣の都市からも買い物や通勤の人々が訪れる都市になり、市のイメージは大きく変わってきました。

こうした中、市では理想とする印西市の実現に向けて多くの政策が提案されます。議会においても、市民がほんとうに暮らしやすい印西市の実現に向けて、多くの真摯な議論がなされています。また議会改革への取り組みも進められています。こうした議会の活動が市民に正しく伝わり、市民の皆様と議会が一体になって市政の進展に取り組んでいけるよう、議会だより編集委員会も、責務の重さを常に自覚しながら、より良い紙面づくりに取り組んでまいります。

## 編集後記

## 議会日誌

### 11月

- 12(月) ニュータウン等対策特別委員会
- 13(火) 印旛管内市議会正副議長会定例会・視察研修会(～14日)
- 19(月) クリーンセンター次期中間処理施設整備等特別委員会
- 22(木) 会派代表者会議  
議会運営委員会  
正副委員長会議
- 27(火) 議会改革推進特別委員会
- 29(木) 第4回定例会(～12月20日)  
議会だより編集委員会
- 30(金) 長門川水道企業団議会定例会

### 12月

- 3(月) 全員協議会
- 5(水) 議会改革推進特別委員会
- 6(木) 議会運営委員会
- 10(月) 予算審査特別委員会
- 11(火) 建設経済常任委員会
- 12(水) 文教福祉常任委員会(勉強会)
- 13(木) 総務企画常任委員会
- 14(金) クリーンセンター次期中間処理施設整備等特別委員会
- 19(水) 議会改革推進特別委員会  
議会運営委員会
- 20(木) 全員協議会

### 1月

- 10(水) 議会運営委員会
- 18(金) 議会だより編集委員会
- 24(木) 印旛管内市議会正副議長連絡協議会定例会
- 30(水) 議会改革推進特別委員会  
議会運営委員会

## お知らせ

### 会期日程

平成25年第1回定例会(3月議会)は、これまでの会期日程と異なり、一般質問の実施時期など審議の順番が変更となっております。ホームページでご確認ください。

### 一般質問の閲覧

平成25年第1回定例会(3月議会)で予定されている一般質問(代表・個人)の内容は、2月18日(月)以降ホームページ等で閲覧できます。

### 請願・陳情の提出

請願・陳情書はいつでも提出できますが、定例会ごとに提出期限をもうけ、審議を行っています。提出期限については、議会事務局へお問い合わせください。

## お詫びと訂正

議会だより第162号(11月15日発行)の掲載記事に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、訂正いたします。

2ページ掲載 3段目10行目

### 【審査結果】

- 誤) 平成23年度印西市各会計補正予算
- 正) 平成24年度印西市各会計補正予算



- 委員長 渡邊 正一
- 副委員長 藤代 武雄
- 委員 海老原 作一
- 松尾 榮子